

# 初任者が成長したと感じたこと

～令和4(2022)年度 指導教員アンケートより～

## 自覚と自信

- はじめから子どもを思う情熱は素晴らしいものがありました。それに加え、教科の特性を踏まえた授業を工夫して行い、「はじめ」「積極的な態度」等へのアドバイスや指導もできるようになってきています。私や周囲の教職員の助言を大切にし、公立学校教職員としての自覚と責任ある言動が自然にできるように成長してくれています。



## 主体性・行動力

- 同学年の教員に進んで質問・確認する姿が見られました。校務分掌表を参考に、誰にどの相談をすればよいか考えて行動できるようになりました。
- 他の教職員に積極的に声を掛け、質問をしたり、アドバイスをもらったりするようになりました。
- 待っていても教えてもらえない、求めていくことが大事だと気付いてくれました。
- 自分で考えて行動する力が付いてきました。



## 個性の発揮、自己指導能力

- 4人の初任者が、それぞれ自分の得意分野(手づくり教材の作成・丁寧な声掛け・子どもとの休み時間のふれあい・工夫した掲示物の作成)を生かして、クラスの子どもと真摯に関わる姿が見られ、とても成長したと感じました。
- 研修で学んだことを実践し、修正することを積み重ねることで、自分の学級に合わせた取り入れ方を工夫することができるようになりました。
- 自分の授業を客観的に見ることで、次の授業に生かすことができました。試行錯誤しながら、指導技術や考え方を身に付け、対応の幅が広がりました。
- 周囲のアドバイスから、自身の授業改善に生かせる点を見いだす技能が身に付いてきました。ICT機器の活用をはじめ、教材研究を効率的に進める等、自己指導能力が身に付きつつあります。

